ブラジルとの航空便停止？＝トランプ米大統領が検討示唆

フロリダ州知事と会談中のトランプ米大統領（右、Foto oficial de Shealah Craighead)

【既報関連】ブラジルでの新型コロナウイルスの感染者が７万人、死者も５千人を超えた２８日、米国のトランプ大統領がブラジルとの航空便停止を示唆したと２８、２９日付ブラジル国内紙、サイトが報じた。

トランプ氏は２８日、ブラジルは深刻なコロナ禍に襲われており、その流行状態は他の南米諸国とは異なるとの懸念を表明すると共に、現在も運行が続いているブラジルとの間の航空便を停止する可能性も示唆した。ブラジルとの便は、フロリダ州との間の線二つとテキサス州との間の線一つで、計９便が運航を続けている。

米国はまだ、ブラジル人の渡航を禁止してはいない。だが、航空便の運航停止は３月末にも話題に出ており、ブラジル人には不要不急の旅行回避を勧告。ブラジルから帰国した米国人には１４日間の自宅隔離を守る事も命じている。

また、在ブラジル米国大使館は既に、ブラジル在住の米国人達に、即時帰国か、現在地に長期滞在するつもりかのどちらかを選び、準備するようにとの通達を出している。

トランプ氏の発言は、経済活動再開についてのフロリダ州知事との会談の席で出たもので、「ブラジルで深刻な流行が起きている事は知っているだろう？　ブラジルの現状は南米諸国とは違う。残念だが、ブラジルで何が起きたかは今後の数字でわかるはずだ」と語った。

フロリダ州知事は、ブラジルとの航空便の即時停止は不要との考えを示したが、トランプ氏は、「必要だと思ったらすぐに知らせろ」とも命じた。

米国は感染者数、死者数共に世界一で、２８日には感染者数が１００万人を超え、死者も６万人に達する勢いだ。だが、２８日の死者増加数は世界一ではあったものの、前日比では減少。１日の死者数上位５カ国では、ブラジルだけが前日の３３８人を上回る４７４人増を記録し、感染拡大が続いている事を露呈した。

□□□